

第 80 回 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 2 月 15 日(月) 10：30～11：33

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

< 報告事項 >

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がりの状況、医療提供体制、感染拡大防止対策等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 宮古・八重山地域の感染状況について、宮古、八重山保健所から報告があった。
- ◇ 流行状況に改善傾向が見られることを踏まえ、緊急事態措置の一部緩和等を検討するよう、提案があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長
名渡山 子ども生活福祉部長、長嶺 農林水産部長、上原 土木建築部長、友利 雇用政策統括監、渡久地 文化観光スポーツ部長、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、真栄城 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監
(TV会議システム参加) 金城 宮古事務所長、宮里 宮古保健所長、比嘉八重山保健所健康推進班長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から前日時点の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
 - ✓ 昨日、19 人の新規感染者が確認された。
 - ✓ 感染者数の累計が 8 千人目前となっている。
 - ✓ ガールズバーなど接待を伴う飲食店に係る感染者が少しずつ散見される。
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
 - ✓ 県立病院全体で 40 名の新型コロナ患者を受け入れており、確保病床の 33.9% を占めている。
 - ✓ 宮古病院の入院患者は先週から 22 人減って 12 人となっている。先週、療養施設への自衛隊支援が終了したため、同療養施設からの転院を受け入れている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告【資料 2】
 - ✓ 昨日は日曜日のため、検査が実施されておらず、2月13日(土)にはキャンプフォスターで1人の新規感染者の報告があった。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-9】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告
 - ✓ 療養者数、病床占有率、新規感染者数、感染経路不明な症例の割合等、いずれの指標についても、減少傾向が見られる。
 - ✓ 入院者数、中等症以上の患者数についても、減少傾向が見られるが、依然として高い数値となっている。
 - ✓ 国の指標では、療養者数、病床占有率、がステージⅣ相当となっている。ステージⅣまたはⅢを示す指標は減ってきている。
 - ✓ 非コロナの病床利用率は本島合計で 91.7%、全域で 90.6%と、依然として高い状況が続いている。
 - ✓ 直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数を全国と比べると、沖縄県は10.69人で全国6位である。全国平均は 8.46 人で、25 人を超える都道府県がなくなっている。
 - ✓ 直近1週間の県内の地域別の感染状況を見ると、宮古島市で135人から8人へと減少し、落ち着いてきている。那覇市、浦添市は比較的多い傾向が続いている。
 - ✓ 警戒レベル判断指標の推移を見ると、療養者数、新規感染者数ともに減ってきており、その他の指標についても、ピークを越えて減少傾向が見られる。
 - ✓ 新規感染者に占める60歳以上の割合には減少傾向が見られないが、介護福祉施設等でのクラスターの影響がある。
 - ✓ 中等症以上の症例数について、減少傾向が見られるが、依然として高い数値と

なっており、医療機関には負荷がかかっている状況である。

- ✓ 医療従事者の休業者数については、横ばいの状況である。
- ✓ インフルエンザの流行は無い。

(4) 宿泊施設の運用状況について

- 総括情報部から、各地で運用している軽症者用宿泊療養施設の状況について報告【資料4】
 - ✓ 各地区の施設合計で52名の療養者を受け入れている状態で、減少している。

(5) 沖縄県人口変動状況について

- 総括情報部から KDDI Location Analyzer による滞在人口分析データを用いた状況について報告【資料5】
 - ✓ 緊急事態宣言発出の効果により、繁華街エリア、商業エリア、空港エリアとも人出に減少傾向が見られる。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告
 - ✓ 最近は教育機関や医療機関におけるクラスター発生が続いている。
 - ✓ うるま市内の病院でのクラスターは依然として新規感染者数が確認されており、当該病院内での療養中の患者もいるなど、厳しい状況が続いている。
 - ✓ 教育機関におけるクラスターについて、バイト先等が同じであるため、感染が広がっている。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について

- 総括情報部から、宮古・八重山地域の状況を報告【資料6】
 - ✓ 宮古島における療養者数は31人、直近1週間の新規感染者数は2人。八重山は、新規感染者数は0人と療養者数1人であったが昨日で0人となったなど本島よりも落ち着いた状況である。
 - ✓ 両地域における医療提供体制についても落ち着きを取り戻しつつある。

➤ 宮古保健所から、宮古地域の状況を報告

- ✓ 療養者数、新規感染者数についても減少し、落ち着きつつある。
- ✓ 高齢者の入院患者が多いため、コロナの治療を終えても、コロナ以外の治療のためになかなか退院できない。
- ✓ クラスタが発生した介護福祉施設について、施設内で療養していた新型コロナ患者を宮古病院に転院させることができた。自衛隊をはじめ多くの機関から支援をいただいたことに感謝している。
- ✓ 管内の感染収束と、再拡大を防ぐため、体制の再確認などを行っている。

➤ 八重山保健所から、八重山地域の状況を報告

- ✓ 八重山保健所管内では、1月22日以降、新規の感染者は0人が続いている。
- ✓ 警戒をゆるめることなく、今後に向けて介護施設等へ感染防止策の支援等に努めているところである。

(主な発言等)

- 石垣市内における流行には落ち着きが見られることから、時短要請を守らない店舗も増えてきており、時短要請時間を22時にするなど時短要請の緩和が検討できないか、との意見があったが、どう考えるか。
 - ✓ 約2週間、新規感染者が確認されていないため、八重山管内の流行は落ち着きつつある。しかし、延期されていた成人式が開催されることもあり、対策を緩めてしまうと再び感染者が増えることが懸念されるため、八重山保健所としては現状の対策を維持していただきたい、との回答あり。
- 新規感染者数が減れば減るほど、緊急事態宣言の解除や一部緩和などの要望が寄せられるため、色々な観点からシミュレーションを行う必要がある、との発言あり。

(8) 推定感染源の推移について

- 総括情報部から2月4日までの感染例に関する推定感染源の推移について報告

【資料 7】

- ✓ 県衛生環境研究所が7月以降の感染者について、その推定感染源をまとめた。
- ✓ この6ヶ月間をみると、飲食が主な感染源となっている事がわかる。
- ✓ 飲食関係のうち、接待を伴う飲食の割合については、12月頃から減少が見られる。時短要請の効果と考えられる。
- ✓ 正月明けの会食、親族同士の会食による感染者増加が見られる。
- ✓ 1月24日から2月4日の期間には医療・介護での感染源が増加しているが、高齢者施設等でのクラスター発生が影響している。飲食関係で広がった感染が、高齢者施設等に広がるという流れが推測できる。
- ✓ 会食関連の感染事例998例の推移を見ると、年末年始、成人式関連と、1月に2つの山が確認できる。友人宅・知人宅での会食による感染が増えていることから、今後、十六日祭などにおける集まりには注意が必要である。

(9) 緊急事態宣言下における対応状況等について【資料 8】

- 総括情報部から、1月19日に発出し、2月4日に延長した緊急事態宣言の内容について、独自に緊急事態宣言を発出していた長崎県・宮崎県が宣言を解除したため、記載を修正したことについて報告があった。
- 警戒レベル判断指標の推移及び2月4日時点に算出した今後の推計値と宣言延長後の実数との比較について、総括情報部から報告があった。【資料 8-1】
 - ✓ 新規感染者数については、予想値よりも改善が見られる。
 - ✓ 療養者数、入院者数、重症・中等症の患者数については、予想通りの改善となっており、このまま推移すると、2月28日に宣言解除できる見込み。
- 推定感染源が飲食関係の市町村別陽性者数の推移について、総括情報部から報告があった【資料 8-2、8-3】
 - ✓ 先週1週間に確認された飲食関係の感染者数は10人で、以前より減少している。

- ✓ 飲食関連が感染源と推定される感染者の割合についても、減少が見られる。
- ✓ 市町村別に見ると、先週1週間は那覇市で5人確認されているが、全市町村で減少している。
- 繁華街、商業施設における人出の状況をKDDI (Location Analyzer) データに基づいた調査により、緊急事態宣言発出の前後で比較した状況を、総括情報部から報告。
 - ✓ 県内の主要な繁華街エリアでは、緊急事態宣言発出後の人出に減少が見られる。
 - ✓ 22時までの時短要請期間と比べ、20時までの時短要請期間は、外出自粛要請の効果が2倍以上となっている。しかし、個別に見ると、浦添市屋富祖地域や宜野湾市普天間地域では減少率が芳しくない。
 - ✓ 県内の主要な商業地では、外出自粛を要請した後の人出の状況に減少が見られるが、一部の商業施設では、増加に転じている。
- 営業時間短縮や外出自粛の要請の効果を高めるため、各市町村に見回り活動を依頼している。その活動状況について、総括情報部から報告。【資料8-6】
 - ✓ 宣言延長に伴い、見回り活動の継続実施について、各市町村に依頼したところ。
 - ✓ 那覇市内の一部など、夜間営業を継続している店舗が見られるが、それ以外では、ほぼ9割以上の協力が得られている。
- 移入例に減少傾向が見られることについて総括情報部から報告。【資料8-7】

(10) 介護施設等へのPCR検査実施状況およびNAPPの運用状況について【資料9、9-1】

- 総括情報部からPCR検査強化事業の実施状況について報告。
 - ✓ 介護従事者及び医療従事者を対象に、症状がなくても定期的に検査を実施するという事業を、2月10日から開始している。
 - ✓ 対象となる介護事業所は866施設、介護従事者は24,531人で、既に約1,000人に検査して中部保健所管内で1人の陽性者が確認された。陽性率0.1%。

- ✓ 確認された陽性者は、検査時点では症状がなかったが、検査翌日から発症したため、検査のタイミングで見つけることができた。保健所において接触者の調査を進めているところである。
- ✓ 今週 17 日から 3 日間かけて石垣市において検査を実施する予定である。
- 文化観光スポーツ部から、N A P P の週間実績について、582 人が利用(一日あたり平均約 80 人)し、1 人の陽性者が確認されたことについて報告があった。
- 文化観光スポーツ部から、T A C O の週間実績について、サーモグラフィー前の通過者が先週から 16,429 人増え、64,150 人となったこと、増加の原因は旧正月かプロスポーツキャンプが考えられることについて報告があった。
- 文化観光スポーツ部から、「R I C C A」の状況週間実績について、登録者数が 7 千人増え、登録事業所数も 1 千件以上増えたことについて報告があった。
- ✓ 増加の要因としては、「家族でステイホテル」事業の利用要件としていること、時短要請の申請要件としていること、沖縄タイムスや琉球新報の公式 L I N E アカウントに広告掲載したことが考え得られる。
- 企画部から、誰でも安価に P C R 検査を受けられる体制の構築について報告があった。
- ✓ 民間事業者が実施する P C R 検査について、検査 1 件につき最大 8 千円を補助する。自己負担は最低でも 2 千円となる。
- ✓ 補助対象事業者の公募を 2 月 12 日(金)から開始した。
- ✓ 補助対象となる検査機関は、窓口での検体採取だけではなく、離島も含め郵送で対応することとし、保健所や医療機関と連携し、陽性が確認されたら受診調整についても協力することが条件となる。
- ✓ 今月中には検査を開始予定であり、6 月まで実施予定。
- 空港 P C R で陽性が確認された場合は、その検体を県の衛生環境研究所で変異株の検査も行う方針であるとの説明があった。

(主な発言等)

- 介護従事者向けのPCR検査について、陽性者が確認されていない周辺離島から検査を進め、陽性者が確認されなかった場合は、時短要請等の対象地域から外す、という方策も考えられるか、質問があった。
- ✓ エssenシャルワーカーへの検査事業については、先週からスタートして、今週から本格的に事業展開しているところである。その検査結果を、今週から来週にかけてみる必要があると考える。
- ✓ 時短要請を含め、宣言の解除には、目標として設定した指標や目安を重視すべきと考える。特に離島の場合は、1月に経験したように、飲食関係からの感染が医療や介護福祉施設に拡がり、一気に拡大し、医療体制をひっ迫させるため、慎重に判断する必要があると考える。専門家の意見を踏まえながら検討していきたい。

(11) ワクチン対策チームの進捗状況について

- 総括情報部から、医療従事者向けのワクチン接種に向けた対応の進捗状況について報告。【資料10】
- ✓ 対象となる医療従事者は約5万4千人と国に報告した。3月上旬から接種開始予定である。
- ✓ 23箇所の基本型接種施設を決定し、ディープフリーザーは本日までに設置予定。
- ✓ 基本型接種施設から払い出しを受ける連携型接種施設を156箇所選定した。
- ✓ 北谷町でワクチン接種シミュレーションを実施した。うるま市でも実施する。
- ✓ 離島における接種スキームについて、大枠が決定した。看護師等は応援態勢で確保する。
- 総括情報部から、住民向けのワクチン接種に向けた対応の進捗状況について報告。

- ✓ 各市町村における接種体制の構築に向け、地区医師会等と連携して進めているところ。医療従事者の確保が課題となっており、病院長会議を開催して協力を依頼しているところである。
- ✓ 住民向け接種で優先順位となる高齢者数、特に施設に入所する高齢者数の把握に努めているところである。
- ✓ アナフィラキシー発生時の対策に、関係機関と連携しての対応策を検討中である。
- ✓ 住民向けの接種を実施する施設について、まだ決定していない市町村がある。
- ✓ 小規模離島においては、優先接種者だけではなく、優先接種者以外の住民も含めて同時に接種ができるよう、国と協議を進めていく。

(主な発言等)

- 3月1日に予定されている県立高校の卒業式について、感染対策の状況等について質問あり。
 - ✓ 教育庁から、現在、どのように開催するか調査中である。昨年は参加者を限定して実施した。基本的には今年も同様な対応となるものとする。
- 沖縄は車社会であり、卒業式終了後は免許取得のために自動車教習所に卒業生達が殺到する。どのような対応が予定されているのか質問あり。
 - ✓ 県警から、自動車教習所における感染対策について、国から通達が出ているので、県警もその通達に沿って対応している旨の回答あり。
- 3月には人が集まる、人が動く機会が増えることが想定される。各部局においても、想定される機会については事前に対応を検討するよう発言あり。

3 その他報告

特になし

4 閉 会